

議事録：第1回 出雲崎町立学校の在り方検討委員会

日時： 令和8年1月20日（火） 午後6時30分～午後8時

会場： 出雲崎町中央公民館 講堂

参加者： 委員14名全員、教育長、事務局1名

1 開会

2 教育長あいさつ

本日、お集りの皆様におかれましては、ご多用の中、出雲崎町立学校の在り方検討委員を快く引き受けてくださり、誠にありがとうございます。

教育長の任に当たる中で感激したことの一つが、この町の園・小中学校を、卒園・卒業する子どもたちの姿です。長年教育関係の職に携わってきましたが、この町の子どもたちが発する「みんなに会えたことを心から感謝している。」「まさに宝物のような6年間だった。」という、肯定感にあふれた言葉を聞く機会が限られていきました。こういう子どもたちが育つすばらしい教育環境を、持続・発展させるために、委員の皆様のお力添えをお願いします。

この検討委員会で協議の上、整理されたことは、町立小中学校の新たな在り方の方向性を示していく上で基本方針となります。町民の皆様にとって、将来の町立小中学校の在り方を共に考えていくための試案となるものであります。委員の皆様の熟議をお願いしたいと思います。

3 委嘱状交付

4 自己紹介

5 委員会設置要綱について

- 事務局（資料No.1に基づき説明）

6 正副委員長選出及び諮問

- 委員の互選により、委員長、副委員長が選出されました。
- 諮問 教育長より委員長へ諮問書が渡されました。

7 正副委員長あいさつ

8 講話「新しい学び、地域との共創を生み出す学校施設」

- 講師：委員長

- 新しい時代の学びを実現する学校施設の5つの姿の方向性とは
- 学校での学びとは、未来思考で日空間の価値を捉え直すことが重要
- 委員長が携わられてきた全国の小中学校を写真、映像を示し解説
- 小中連携、義務教育学校において、異学年交流などの特色を生かした施設
- 地域素材、環境に配慮した施設、地域コミュニティの拠点となる機能を有する学校
- 地域住民が集う、地域みんなの学校づくりを進めることの重要性など

少子高齢化社会における学校の役割や、地域と共に学校の重要性などの、大事にしていくべき点を、全国の先進事例を交えて、具体的にお話されました。終わりに次のようにまとめられました。

「今、紹介したものが正解、目指すものではないということ。いずれも、教育委員会や学校の先生、そして地域の方々が議論を重ねて、その声を形にしたらこうなったというものです。出雲崎は出雲崎として大事にしたいもの。出雲崎だからできること、出雲崎だからしなければならないこと。それを議論して、出雲崎の学校をみんなでつくっていけたらと思います。」

9 協議事項

(1) 学校を取り巻く現状と課題について（資料 No. 2～4）

- 教育長が資料に基づき説明 → 質問、意見はなし

(2) 今後の検討委員会の開催予定及び内容について（資料 No. 5）

- 教育長が資料に基づき説明 → 質問、意見はなし

(3) その他 なし

10 その他

- 事務局より、次回の開催日程の連絡及び資料の配付、説明

11 閉会